

## 洛西ニュータウンPR動画「子育てに優しいまち・洛西ニュータウン」 音声字幕テキスト

全国的に少子化が進む中、京都市では「京都市はぐくみプラン」に基づき、子育て支援の充実に取り組んでいます。

京都市の総人口に占める子どもの割合を行政区別で見ると、最も高いのは「西京区」。

中でも、子育てに適した環境に恵まれているのが、『洛西ニュータウン』です。

今回は、洛西ニュータウンが「おススメの子育て環境」といえる3つのポイントをご紹介します。

洛西ニュータウンの魅力は、なんといっても豊かな自然に調和した街並み。

四季折々の美しさが際立つ街路樹、そして歩車道分離型の道路が多いので、小さなお子さん連れの方も安心して歩くことができます。

また、西京区は公園の広さが京都市でトップ。  
洛西ニュータウンにも魅力的な公園が数多くあります。

公園整備も定期的に行われています。

こちらの「竹の里公園」は、幼児用ブランコ2基を含む「四連ブランコ」や、「バスケットブランコ」が導入され、小学生はもちろん、小さなお子さんもさらに楽しめる環境になりました。

(インタビュー)

京都市建設局北部みどり管理事務所 今井 貴大

「今回は、竹の里公園において、西京区で初となる幼児用ブランコと、子どもに大人気のバスケットブランコを設置します。

これからも西京区、洛西における子育て環境充実に向けて公園づくりを進めていきます。」

団地が多い洛西ニュータウンでは、子育て家庭のニーズに応える「住宅のリノベーション」が進められています。

UR都市機構と京都女子大学がタッグを組み、学生の柔軟な発想を形にしたリノベーション住戸が人気を集めています。

そのうちの一角を、見せていただきました。

(インタビュー)

UR 都市機構 西日本支社 京奈エリア経営部 企画課 河野 和彦さん

「今回ご紹介させていただくお部屋は、2015年度に洛西竹の里団地で供給された『空間を彩るアクセント』がテーマのお部屋になります。

『飽きないお洒落な空間へ』がコンセプトとなっており、各部屋のアクセント壁がポイントです。

プロジェクトでは、設計コンペを経て決定した受賞作品を基に住戸のリノベーションを実施し、実際に供給していくということを行ってきました。

今までに洛西ニュータウンの団地で18プラン90戸の住戸が完成しています。

2022年度も洛西福西公園団地で2プランが決定し、2023年1月に募集予定となっております。

家族だんらんがより楽しめるお部屋になっています。」

そして、子育て中のママパパ達が気軽に集まれる場所も、洛西エリアは充実しています。

洛西ニュータウンでは、ママたちの有志によるプロジェクトチームの活動や行政の子育て支援が、子育て中のママパパを手厚くバックアップしています。

未就学児と保護者向けのイベントも定期的に関われ、子どもたちが全力で遊べる環境が用意されています。

(インタビュー)

つどいの広場 ま〜ぶりんぐ 施設長 尾田 真紀さん

「子育てはママ一人でもできないですし、それぞれのご家庭だけでもできない、いろいろな人達にお世話になっていかないとできない、というところがあります。

この洛西管内には子育て支援施設がたくさんあって、安心して地域の中で過ごせる環境にあるかと思います。

自然がたくさんあるので、子どもたちの育ちに「五感への刺激」がとても大事になってくるんですけども、土の手触りや匂いを感じることで、陽の光をしっかりと浴びることができる、子どもの五感を刺激して健康・健全なからだづくりをする面でも、とても恵まれた土地だなと思っています。」

育児は悩みや迷いがつきもの。

それ以上に楽しい、嬉しいことがたくさん得られる貴重な期間でもあります。

子育てをまち全体で応援する洛西ニュータウンで、暮らしてみませんか。

END